

2019年7月29日

あおぞら投信株式会社

## 「働き方 改革すべきは 生産性

## 多様な姿 オープン構造」

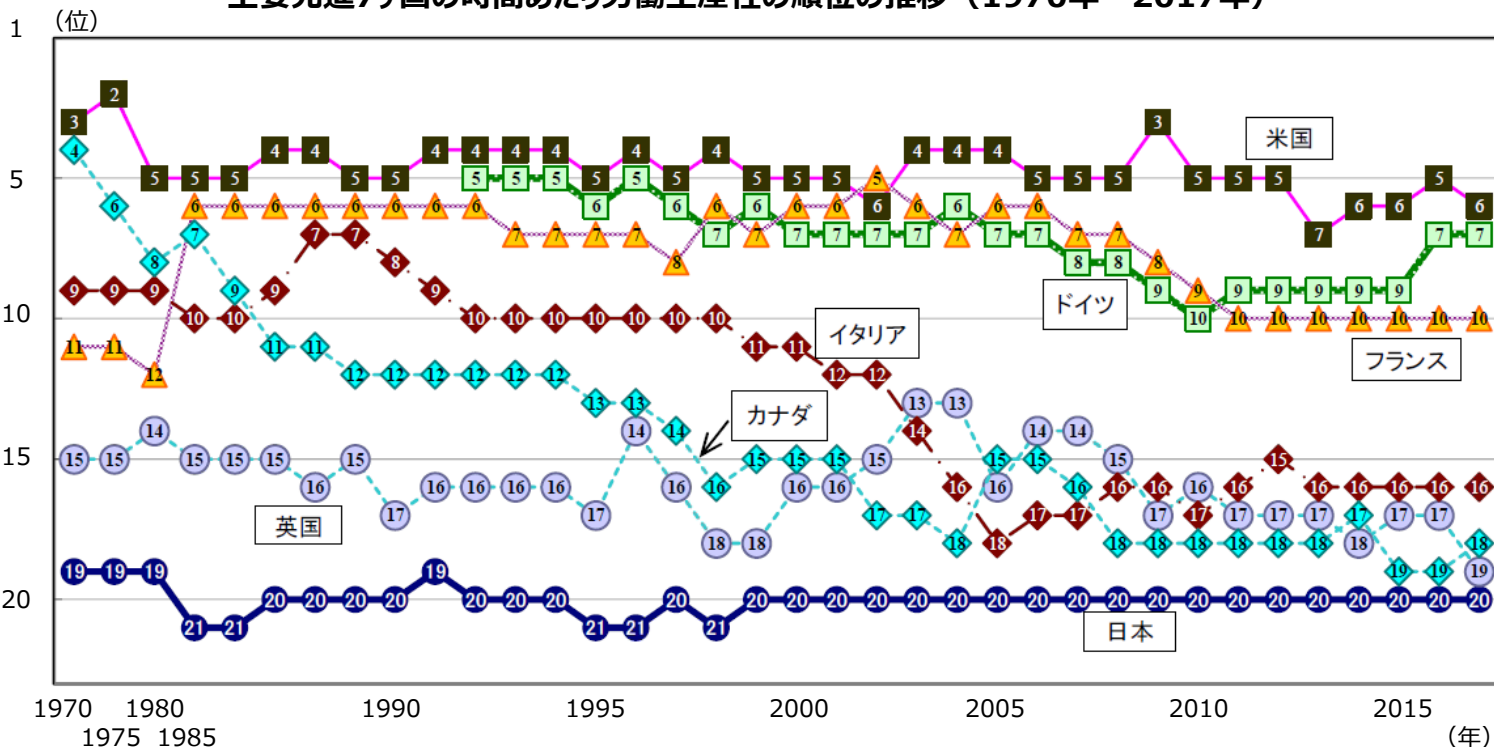
これまでは金融の立場にいる人は「テクノロジーをいかに活用するかが重要だ」と言ってきたことが多いと思います。ところがここ10年、いや直近5年でのテクノロジーの変化スピードは加速しており、様々な物事の発想をより大きく、早く展開しなければならない状態にまでなっています。すなわち、テクノロジーは金融に魅力を感じるのか、という問いかけに変わっているのかも知れないのです。

金融の中では生産性向上が最大の課題となっています。そのために事務作業の合理化としてRPA\*(ロボティック・プロセス・オートメーション)があります。金融にとっての事務作業は何と言っても正確性と高度のセキュリティが必要となるため、自動化がなかなか進まなかった経緯があります。それが大規模な情報処理能力により可能となったのです。そうすると、金融にとっては、よりサービスの中身の問題がクローズアップされてくるようになります。ここでのポイントは、金融側から考えるサービスではなく、重要なことはお客さま側が求めるサービスの提供だということで、考え方の進む方向が180度反対になっているということなのです。直近5年の変化よりもスピードがさらに加速する中で考えるべきは、本質的な価値判断であり、そのためには金融サービス業としての生業とは何か、お客さまに活かされる機能とは何かを明確にせねばなりません。『誰に？いつ？どこで？何を？どのように？』プラス特にそれは『なぜ？何のためなのか？』という5W1H+αの問いかけへの答えを定義することだと考えるのです。

\*RPA:機械学習、人工知能などの認知技術を活用した、オフィス業務の効率化や自動化に向けた取り組み。

柳谷俊郎

主要先進7ヶ国の時間あたり労働生産性の順位の変遷 (1970年～2017年)



※順位はOECD加盟国36ヶ国の中の順位です。

出所: OECDのデータベース、財団法人日本生産性本部及び各種報道を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号: あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2771号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス: <http://www.aozora-im.co.jp/>